

# 平成21年度 社団法人横浜市身体障害者団体連合会事業報告

## 1 障害者権利条約の早期批准へ

権利条約は既に平成20年5月3日に国際法として発効していますが、政府は未だ批准をしていません。日身連を中心とした「日本障害フォーラム」が条約の批准に向けて福祉、雇用、教育等、既存の障害者関連法の抜本的な見直しと新たな法制度の整備を求めています。

日身連は、同フォーラム主催のセミナー「権利条約の原点とわが国の課題」に役員と職員を派遣するなど、条約をめぐる動向の把握と啓発にも努めています。

## 2 自立支援法から障害者総合福祉法（仮称）へ

政権交替により国は、障害者自立支援法を廃止し、障害者施策全般を見直すために障害当事者が参画する「障がい者制度改革推進会議」を今年の1月に発足させました。会議のメンバーは過半数が障害者団体で構成され、その議長には日身連の上部機関である日身連の会長が就任しました。

会議では今年の夏頃までに、障害者基本法、障害者差別禁止法制定など、その骨格を国民に示すことになっています。

## 3 在宅障害者手当から「将来にわたるあんしん施策」へ

横浜市は、在宅心身障害者手当を平成22年度から廃止し、その財源を「将来にわたるあんしん施策」に転換することを決めました。その際、その廃止が障害者福祉の後退につながらないよう、市会において付帯意見がつけました。

「将来にわたるあんしん施策」づくりは障害当事者や、家族、市会、行政の共同作業ですすめられていますが、在宅障害者手当は総額が18億円を超える大変貴重な財源であり、それを越える予算を組むよう、日身連が中心となり知的、精神等の3障害団体が団結し、市長や市会各会派に強く要望し、22年度予算に反映しました。

日身連は、障害当事者の代表として今後も会議に参加するとともに積極的に発言し、検証し、行動していくことが求められています。

## 4 公益社団法人へ

公益法人制度改革に伴う公益社団・財団法が平成20年12月に施行され、5年以内（平成25年11月末まで）に新法人を選択し、移行しない場合は現在の法人が解散されたものと見做されることになりました。

これに対応するため、日身連は、平成20年8月に全理事で構成する「新法人設立検討委員会」をいち早く設立し、これまでに9回の検討委員会を開催し、それに加え理事会においても数回にわたり慎重に検討してまいりました。

その結果、会員を中心とした事業が自由にできる「一般社団法人」ではなく、公益事業の推進に重点を置き社会的信頼度が著しく高い「公益社団法人」を選択することとし、この3月に開催された第51回通常総会で「公益社団法人への移行」と「定款の全部改正」が全会一致で承認されました。

## 5 障害者社会参加推進協議会、障害者社会参加推進センター

日身連は推進協議会の下部組織である身体障害部会を3回開催し、数次にわたる専門部会の検討を経て「障害者社会参加推進センター事業に関わる検討事項について」として、3項目6事業をと

りまとめ推進協議会へ提案しました。そのうちの一部は22年度予算に反映することができました。  
以下、平成21年度の主な行動日程を報告します。

## 平成21年度 浜身連事業報告

### 1 諸会議

#### (1) 通常総会 年2回開催

50回総会 6月27日(土) 出席者29人(委任状6) 欠席者1人、監事2人

51回総会 22年3月27日(土) 出席者29人(委任状7) 欠席者1人、監事0人

#### (2) 理事会 原則として毎月第2水曜日午後 8回開催、

5月13日 6月10日 7月8日 9月9日 10月14日、

12月9日 22年2月10日 22年3月10日

#### (3) 新法人設立検討委員会 3回開催

年8月18日 8月24日 10月14日 11月18日

#### (4) 第5期横浜市障害者社会参加推進協議会・身体障害部会 各2回開催

推進協議会 7月15日 22年3月31日

身体障害部会 4月8日 7月8日

### 2 障害者福祉に関する啓発事業

#### (1) 会報「浜身連」の発行

発行回数 年4回(4月、7月、11月、1月)

発行部数 5,000部/回

#### (2) 第59回横浜市身体障害者福祉大会

期日 7月12日(日)

場所 横浜ラポールシアター

参加者 208人(表彰者10、加盟団体152、来賓21、一般25)

#### (3) 指導者研修会

未実施

#### (4) 平成22年新年の集い

期日 22年1月9日(土)

場所 新横浜国際ホテル南館

参加者 101人(加盟団体56、市4、市会4、国会15、県会1、その他21)

### 3 市会各党への要望

#### (1) 21年度浜身連予算要望

民主党ヨコハマ会(7月1日)、共産党(3日)、民主党(8日)、自民党(16日)、ネットワーク横浜(27日)、公明党(9月8日)

#### (2) 「将来にわたるあんしん施策」に対する緊急要望

市長要望(12月24日)、共産党(12月24日)、民主党、民主党ヨコハマ会(12月25日)、自民党(22年1月6日)、ネットワーク横浜(1月7日)、民主党2回目(1月8日)

#### 4 関係諸団体との連絡調整、援助に関する事業

(1) 第54回日本身体障害者福祉大会

期日 5月21、22日(木、金)

場所 長崎県

参加者 9人

(2) 第50回日身連関東甲信越静ブロック協議会

山梨県 6月11、12日(木、金)

東京都 10月29日(木)

(3) 政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会

期日 9月5、6日(土、日)

場所 川崎市

出席者 9人

(4) 政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会団体長会議

期日 22年2月5日(金)

場所 千葉市

#### 5 団体運営の助成

(1) 横浜市から構成10団体へ運営補助金交付

(2) 障害者自立支援対策臨時特例交付金事業費補助金交付(23カ所)

(3) 浜身連より構成10団体へ助成金交付

#### 6 浜身連ハンディキャブ貸出事業

(1) ハンディキャブ 2台

(2) マイクロバス 1台

(3) 利用状況 91(20年度:98)件、143(209)日=キャラバン89(137)日、  
軽タウンボックス7(47)日、バス37(25)日

#### 7 ガイドボランティア紹介補助事業(身体・知的・精神の3障害)

##### 実務取扱団体

横浜市視覚障害者福祉協会:視覚障害者利用者217(20年度:237)人、ボランティア178(195)人、一般7,457件、通所・通学53件

横浜市車椅子の会:車いす利用者12(14)人、ボランティア11(16)人、  
一般409件、通所・通学0件

横浜市脳性マヒ者協会:脳性マヒ者利用者6(7)人、ボランティア6(7)人、  
一般447件、通所・通学44件

#### 8 浜身連 雇用相談事業(身体、知的、精神の3障害)

相談日 毎月第2、第4土曜日の午前10時~午後4時 実働24日

場所 横浜ラポール3階 浜身連会議室

相談者 総数 83人 (20年度: 91)

身体 65 (69) = 肢体 30 (48) 視覚 4 (5) 聴覚 13 (11) 内部 7 (5)

知的 7 (3)

精神 11 (11)

高次脳 7 (8)

重複 4

就職者数 0人 (11: 肢体 9、内部 1、聴覚 1)

## 9 スポーツ・レクリエーションに関する事業

(1) 第26回横浜市身体障害者運動会 (新型インフルエンザの大流行のため中止)

(2) 第23回横浜市身体障害者囲碁・将棋大会

期日 22年2月7日(日)

場所 横浜ラポール大会議室

参加者 38人

(3) 第41回政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会 (休止)

(4) ハマピック開会式、陸上競技

期日 5月10日(日)

場所 三ツ沢公園陸上競技場

(5) 第8回全国障害者スポーツ大会

期日 10月10日(土)~12日(月)

場所 新潟県

## 10 ジバング倶楽部の取り扱い業務

登録 724 (20年度: 663)人 = 新規 101 (88) 、継続 512 (523)  
期限切れ 111

## 11 売店等の運営

売店 2店 (ラポール、リハセンター)

自販機 12台 (ラポール 8台、リハセンター 4台「内たばこ1台」)

## 12 事務局

(1) 常勤 事務局長 1、障害者社会参加推進センター 4

(2) アルバイト 事務局 2、売店 6、障害者社会参加推進センター 2